

経営理念の浸透

▶ 経営理念携帯カードの配布

京阪グループ全従業員に経営理念、経営姿勢、行動憲章、環境理念を記載した携帯用のカードを配布しています。



経営理念携帯カード

▶ 研修の実施

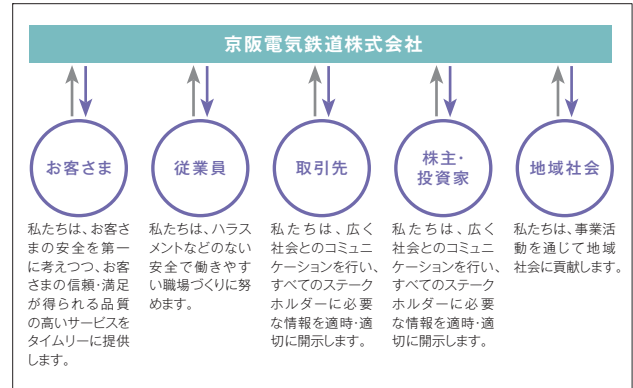
グループ新入社員研修、新任管理職・係長研修などで京阪グループの経営理念などの浸透を図っています。



グループ新入社員研修

当社とステークホルダー

お客さま、地域社会、株主・投資家などさまざまなステークホルダー（利害関係者）との積極的なコミュニケーションを通じて、ステークホルダーのさらなる信頼を得ることができるよう、継続して取り組みを進めていきます。



京阪ステークホルダーダイアログ

【学生とのステークホルダーダイアログ】

同志社大学でのゲスト授業

当社「CSR報告書」で第三者意見をいただいている(株)環境管理会計研究所の取締役でもある同志社大学商学部の梨岡英理子先生の講義で、ゲスト授業として当社の事業内容、環境CSR活動の取り組み状況について受講生の方々との意見交換会を継続して実施しており、4年目の開催となりました。



■ 主なご意見とご提案

- 表紙が優しい背景で、第一印象がよいです。
- 社長トップコミットメントはもっと内容を濃く、膨らませることも可能ではないかと感じました。
- 鉄道のみならず、不動産事業やレジャー・サービス事業でのCSRの取り組みも掲載してほしいです。
- 創立委員長の渋沢栄一氏の「道徳経済合一性」の説明を簡単に毎年載せるべきだと思います。
- 現状として車両はきれいだが、トイレや駅についてはあまりきれいなイメージはないので、新設した事だけを記載するのは疑問です。
- ページ構成が一般読者の目線に立って考えられていると感じました。
- 鉄道の復旧の記載だけでなく、バスで代行するなど鉄道以外の対策を講じる方法を検討してほしいです。

関西学院大学 阪ゼミとの意見交換会

環境会計やCSRを専門とする関西学院大学阪智香ゼミナールの皆さまと意見交換会を継続して実施しています。3年目の開催となる今年度は、意見交換会の前に学生の皆さまへ京阪沿線の「くずはローズタウン」での見学会も行い、報告書だけでなく現地の様子を知ってもらうという試みも行いました。



■ 主なご意見とご提案

【「くずはローズタウン」の見学会を終えて】

- 鉄道会社が鉄道の運営管理だけでなく、沿線の街づくりのためにショッピングモールや老人ホームなどのさまざまなことに取り組んでいると初めて知りました。
- “街と暮らし”をともに創るなど、地域社会とのつながりを重視していると感じました。

【ダイアログを終えて】

- 駅構内に「大人のリラックススペース」を作って、空き時間を有効利用できれば。
- Wi-Fiを使える車両があれば良いと思います。
- 鉄道業界の中でも、企業によってカラーがあり、取り組み方も全然違うんだと感じました。
- 今回のダイアログをきっかけに、京阪電車だけでなくさまざまな会社のCSRレポートを読む機会ができてよかった。イメージだけで会社を判断してはいけないということがよく分かった。
- 自分の知らないところで企業が環境などへの取り組みをしていることを知りました。また報告書に掲載されている取り組みが全てでなく、他にもさまざまな取り組みが続けられていることも知りました。